

志望理由を考えよう

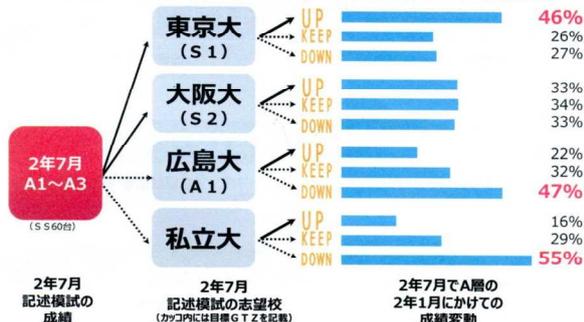
…そろそろ先延ばしにはできません

各クラスの学級通信を見ると、進路がらみの話題が多くなっているような気がします。見学旅行前の結団式で話したとおり、2年生の後半からは「進路の実現」がメインテーマなのです。

入学時からさんざん聞かされているはずですが、進路目標が決定してるかしてないかで合格率に大きな差が出るのが、まさにこの時期なのです。

しかしみなさんの中には、7月模試での判定、そして今回の11月模試のできなどが今ひとつで自分の進路に不安を感じ、最初の目標が揺らぎ始めている人がいるかも知れません。

◆2年7月記述におけるGTZ・A層の2年1月記述にかけた成績変動



自分の学力よりも大幅に高い目標設定をしている生徒が伸びている

このデータを見ると、模試の結果を受けて進路目標を自分の成績に合わせて設定してしまったり、または下げて設定してしまった場合、1月までに成績が下降する人が多いことがわかります。やみくもに高く設定すれば良いというわけでもありませんが（設定に合わせた努力はしなければならぬのですから）、志は高くということです。

さて、学校選びには当然、その中でどんなことを学ぶのが最優先されるわけですが、同じ学部学科名だからといってどの学校でも同じことを取り扱っているわけではありません。看護学科ひとつとっても学校ごとで違うはずです。

自分が目標とする学校にはどんな特徴があって、どこに魅力を感じているのか。自分で積極的に情報を収集して「自分だけの」志望理由を考えましょう。

受験情報あれこれ

…プレテストもありました

まずは、以前から指摘されている私立大学の合格者数削減に伴う難化の話題です。

グラフはここ数年の私立大学の志望者数 & 合格者数の推移です。

- 早慶上智＝早稲田・慶応・上智
- MARCH＝明治・青山学院・立教・中央・法政
- 日東駒専＝日本・東洋・駒澤・専修
- 関関同立＝関西・関西学院・同志社・立命館
- 産近甲龍＝京都産業・近畿・甲南・龍谷

入学定員の厳格化の段階的措置

私学助成が不交付となる 入学定員充足率			学部新設が不認可となる定員充足率 (新設前年度から過去4年間の平均)			
大学規模 (収容定員)	4000人以上 8000人未満	8000人以上	大学規模 (収容定員)	300人以上	100人以上 300人未満	100人未満 全て
2015年度	1.3倍以上	1.2倍以上	2016年度新設	1.3倍以上		
2016年度	1.27倍以上	1.17倍以上	2017年度新設	1.25倍以上	1.30倍以上	1.30倍以上
2017年度	1.24倍以上	1.14倍以上	2018年度新設	1.15倍以上	1.20倍以上	1.25倍以上
2018年度	1.20倍以上	1.10倍以上	2019年度新設	1.05倍以上	1.10倍以上	1.15倍以上
私学助成が減額となる措置の導入						
2019年度			1.0倍を超える学生分の減額措置(予定)			

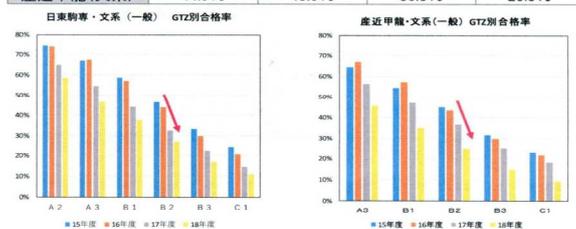
*文科科学省「平成28年度以降の定員管理に係る私立大学等経常補助金の取扱いについて(通知)」をもとに作成。

*文科科学省「大学、大学院、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準の一部を改正する告示の施行について(通知)」をもとに作成。

私立大の入学定員の厳格化が進んできた

志望者の増加に対して合格者が減少していることがわかります。つまり学力 B2 の人たちのボーダーラインだった日東駒専や産近甲龍がボーダーではなくて難関校になってしまっています。

一般方式の GTZ・B2合格率	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
日東駒専(文系)	46.3%	43.8%	32.6%	27.0%
産近甲龍(文系)	44.9%	43.5%	36.8%	25.3%



合格者の絞り込みによって合格率も低下 日東駒専、産近甲龍ではGTZ・B2での合格率が3割を下回る

さて、11/10(土)は本校の80人が小樽医科大学にてセンター試験に変わる新テストの試行試験(国・数)を受験しました。記述式の解答など良い経験ができたと思います。新テストの作問傾向はみなさんが受験するセンター試験にも反映されるはずですよ。

今後の予定

- 11/21(水) 3年次科目選択調査票配付
- 11/23(金) 勤労感謝の日
- 11/27 ~ 11/30 後期中間考査(保護者懇談)
- 12/22(土) ~ 冬季休業